

# U18 審判員研修会 参加報告

茨城県サッカー協会  
3級審判員 綿引愛斗

- 1 大会名 JFA 第 46 回全日本 U-12 サッカー選手権大会
- 2 開催地 鹿児島県/鹿児島ふれあいスポーツランド・鴨池補助競技場・白波スタジアム
- 3 開催期間 2022 年 12 月 26 日(月)～12 月 29 日(木)
- 4 研修所見

## (1) 大会前から大会終了までの流れ

- ・各都道府県からユース審判員 32 人が集まりました。中には高校 1 年生も参加していました。
- ・大会前から ZOOM を使って、事前オンライン研修を行い大会の情報や競技規則の確認をしました。
- ・初日は審判員とインストラクターの方々にそれぞれの大会への意気込みを発表しました。
- ・2 日目からは試合が始まり 3 日目でベスト 16 が決まりました。ここまで自分は、主審 3 試合と補助審 3 試合を担当しました。
- ・3 日目の午後からベスト 8 が決まりました。この日の夜に全体でミーティングをして準々決勝、準決勝、決勝の割り当てが決まりました。自分は選ばれませんでした。敗者チーム同士のフレンドリーマッチを担当しました。
- ・4 日目に準々決勝と準決勝を行い最終日に決勝戦という形になりました。

## (2) 大会で学んだこと、感じたこと

- ・全国大会ということもあり選手やチームスタッフ、保護者の方達の熱があり、とても盛り上がった大会だったと思いました。
- ・自分が試合をさばいて、思っていた試合とは違い、小学生年代とは思えないような熱く激しい試合でした。8 人制サッカーでコートは狭く、1 人制審判なので「起きる事象やゲームの流れを読んで適切なポジションを取る」課題を設定して意識しました。
- ・1 試合目を担当して、うまく行かない点や確認することをインストラクターや審判同士で話し合い、2 試合目では前の試合より適切なポジションを取れ、全体的に良い試合をさばけたと思います。3 試合目でもモチベーションを維持して、自分の課題を意識してゲームにのぞめたと思いました。
- ・この大会で審判やインストラクターにももらったアドバイスをこれからの審判活動にいかしていこうと思います。

- 今大会は審判活動だけでなく社会としての礼儀や行動を改めて学ぶことができました。大会関係者へのあいさつを徹底したり、自分はたくさんの人の前で話す機会が今までなかったのですが今回、審判員やインストラクター、スタッフが約50人いる前で自分の自己紹介や意気込みを発表する機会を得ることができました。こうした機会がこれから増えていくと思うので、貴重な経験をこの大会でできて良かったと思いました。



参加者：最前列中央